

# たばこ肺(COPD)の早期発見・早期治療の手引き 要約版

---

Step  
1

## たばこ肺(COPD)ハイリスク者への早期受診の促進

### 山口たばこ肺スクリーニングチーム(チームS) 山口たばこ肺フォローチームB(チームFB)

(特定健診・後期高齢者健診を実施しているクリニック・病院・検診センター)

健診受診者、かかりつけ患者を対象に  
たばこ肺ハイリスク者(喫煙歴がある40歳以上の成人)を選別

確認: COPD質問票(COPD-PS)で4点以上

たばこ肺フォローチームAへの受診勧奨

#### COPD 集団スクリーニング質問票 (COPD-PS™)

この質問票は、ご自身、ご自身の呼吸、またご自身ができることについてお伺いするものです。記入にあたり、以下の質問に対し、ご自身に最もあてはまる回答のボックス (○) に☑をつけてください。

1. 過去4週間に、どのくらい頻りに息切れを感じましたか？

まったく 感じなかった	数回感じた	ときどき感じた	ほとんど いつも感じた	ずっと感じた
▼	▼	▼	▼	▼
□ <sub>0</sub>	□ <sub>1</sub>	□ <sub>1</sub>	□ <sub>2</sub>	□ <sub>2</sub>

2. 咳をしたとき、粘液や痰などが出たことが、これまでにありますか？

一度もない	たまに風邪や 肺の感染症に かかったときだけ	1か月のうち 数日	1週間のうち、 ほとんど毎日	毎日
▼	▼	▼	▼	▼
□ <sub>0</sub>	□ <sub>1</sub>	□ <sub>1</sub>	□ <sub>2</sub>	□ <sub>2</sub>

3. 過去12か月のご自身に最もあてはまる回答を選んでください。

呼吸に問題があるため、以前に比べて活動しなくなった。

まったく そう思わない	そう思わない	何ともいえない	そう思う	とてもそう思う
▼	▼	▼	▼	▼
□ <sub>0</sub>	□ <sub>0</sub>	□ <sub>1</sub>	□ <sub>1</sub>	□ <sub>2</sub>

4. これまでの人生で、たばこを少なくとも100本は吸いましたか？

いいえ	はい	わからない
▼	▼	▼
□ <sub>0</sub>	□ <sub>2</sub>	□ <sub>0</sub>

5. 年齢はおいくつですか？

35~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
▼	▼	▼	▼
□ <sub>0</sub>	□ <sub>1</sub>	□ <sub>2</sub>	□ <sub>2</sub>

得点の計算：各質問に対するご自身の回答の横にある数字を、以下の欄に記入してください。数字を足して合計点を算出してください。合計点は0から10までの間です。

↑1.の得点 + ↑2.の得点 + ↑3.の得点 + ↑4.の得点 + ↑5.の得点 = 合計点

Step  
2

## たばこ肺(COPD)の早期診断・禁煙指導・治療介入

### 山口たばこ肺フォローチームA(チームFA) COPDの診断・治療が可能な医療機関

問診・身体所見・スパイロメトリー・胸部X線・血液検査・  
(胸部CT)・(心電図)

たばこ肺(COPD)の確定診断、暫定診断

禁煙指導・薬剤治療介入

#### たばこ肺(COPD)確定診断の基準

1. 長期の喫煙歴などの曝露因子があること。
2. 気管支拡張薬吸入後のスパイロメトリーで1秒率(FEV<sub>1</sub>/FVC)が70%未満であること。
3. 他の気流閉塞を来しうる疾患を除外すること。

#### たばこ肺(COPD)暫定診断の基準 (スパイロメトリーがある場合)

1. 長期の喫煙歴などの曝露因子があること。
2. 症状がCOPDに矛盾しないこと。
3. 気管支拡張薬を吸入しない状態でのスパイロメトリーで1秒率が70%未満であること。

#### たばこ肺(COPD)暫定診断の基準 (スパイロメトリーがない場合)

1. 長期の喫煙歴などの曝露因子があること。
2. 症状がCOPDに矛盾しないこと。
3. 胸部CTで低吸収領域(肺気腫)を確認すること

# たばこ肺(COPD)に対する初期治療

## COPD

喫煙歴を確認し、現喫煙者に禁煙指導

症状の評価  
息切れ CAT

併存疾患の評価  
喘息の特徴\* 心不全の特徴

Step 1  
喫煙の  
評価

Step 2  
病態  
評価

Step 3  
薬剤  
選択

Step 4  
治療  
評価

CAT 0-4点  
あるいは  
階段・坂道歩行で  
息切れがない

CAT 5-9点  
あるいは  
階段・坂道歩行で  
息切れ

CAT 10点以上  
あるいは  
平地歩行で  
息切れ

経過  
観察

LAMA  
または  
LABA\*\*

LAMA  
+  
LABA

ICSを  
考慮

循環器  
内科  
との連携

初期  
治療

患者が併存疾患を  
有する場合に追加

治療継続

専門医への紹介

症状の  
改善

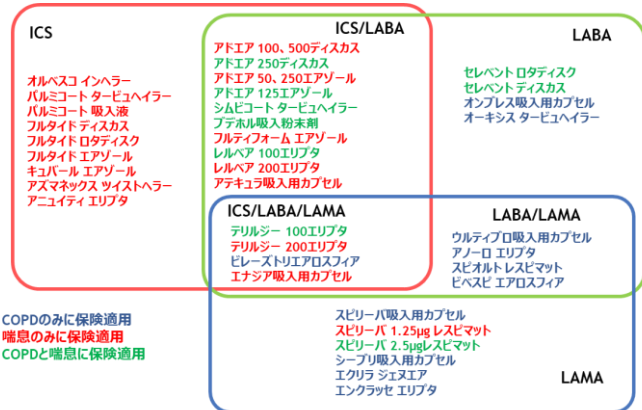
症状の悪化  
あるいは増悪

## CAT: COPDアセスメントテスト

まったく咳が出ない	◀ 0 1 2 3 4 5 ▶	いつも咳が出ている
まったく痰が詰まった感じがしない	◀ 0 1 2 3 4 5 ▶	いつも痰が詰まっている感じがする
まったく息苦しくない	◀ 0 1 2 3 4 5 ▶	非常に息苦しい
坂や階段を上っても、息切れがしない	◀ 0 1 2 3 4 5 ▶	坂や階段を上ると、非常に息切れがする
家での普段の生活が制限 されることはない	◀ 0 1 2 3 4 5 ▶	家での普段の生活が非常に制限される
肺の状態を気にせず、外出できる	◀ 0 1 2 3 4 5 ▶	肺の状態が気になって、外出できない
よく眠れる	◀ 0 1 2 3 4 5 ▶	肺の状態が気になって、よく眠れない
とても元気だ	0 1 2 3 4 5	まったく元気がない
		合計

[http://www.gold-jac.jp/support\\_contents/cat.html](http://www.gold-jac.jp/support_contents/cat.html)

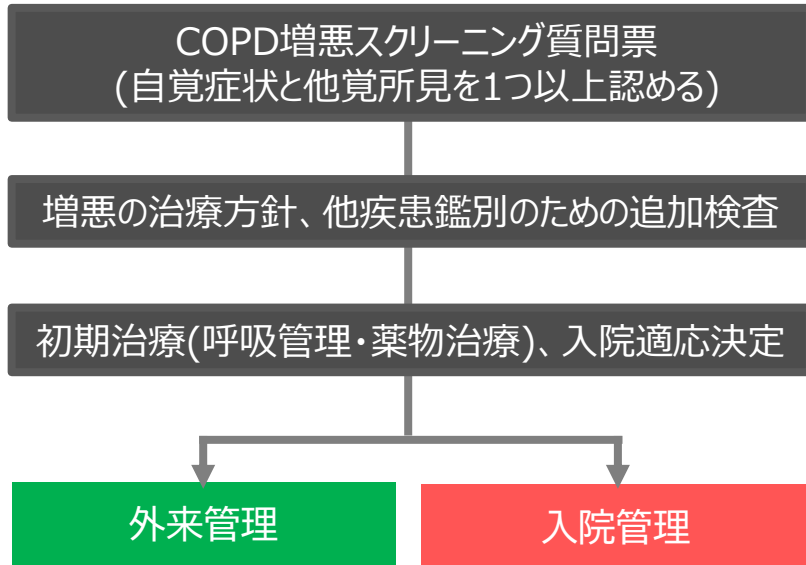
## LABA、LAMA、ICS 治療薬一覧



国立病院機構近畿中央病院倉原優（先生）より御提供

CAT: COPDアセスメントテスト, LAMA: 長時間作用性抗コリン薬, LABA: 長時間作用性B2刺激薬, ICS: 吸入ステロイド薬  
\*喘息の特徴: 変動性の症状、若年時の喘息既往、呼気NO濃度 $\geq 35$ ppb、血中好酸球数 $\geq 300/\mu L$ 、などを参考にする  
\*\*LAMAまたはLABAの選択: 基本的にはLAMAを選択するが、LAMAの副作用(排尿障害を伴う前立腺肥大や閉塞隅角性緑内障)が懸念される場合にはLABAを選択する

# たばこ肺(COPD)増悪期の対応



## COPD増悪スクリーニング質問票

▼【患者記入欄】 過去・現在起こっている「増悪」を見逃さないための自覚症状  
前回の受診から今日までの間で、以下に該当することが2-3日以上ありましたか？

<input type="checkbox"/>	動くとき切れ（息がはけない、息が詰まる、空気が足りない感じ）がいつもより強い・回復が遅れる
<input type="checkbox"/>	いつもより咳や痰が増える、痰が切れにくい、いつも痰の色がちがう
<input type="checkbox"/>	じっとしていても息が苦しい、息がぜーぜー、ヒューヒューいう
<input type="checkbox"/>	食欲が低下した
<input type="checkbox"/>	体がだるい、外出したくない、いつもできている日常動作（トイレ、着替え、入浴など）がしづらくなった

▼【医師記入欄】 現在起こっている「増悪」を見逃さないための他覚所見

<input type="checkbox"/>	いつもよりSpO <sub>2</sub> が3～4%低下あるいは90%を下回る
<input type="checkbox"/>	いつもより息を吐く時間が長い、口をすぼめて呼吸している
<input type="checkbox"/>	聴診で肺野に雑音（ゴロゴロ、ヒューヒュー、グーグー）がある

以下の項目を参考に、総合的に入院適応を判断する

### 入院の適応

- 安静時呼吸困難の増加、頻呼吸、低酸素血症の悪化、錯乱、傾眠などの著明な症状
- 急性呼吸不全
- チアノーゼ、浮腫などの新規徴候の出現
- 初期治療に反応しない場合
- 重篤な併存症（心不全、肺塞栓症、肺炎、気胸、胸水、治療を要する不整脈など）の存在
- 不十分な在宅サポート
- 高齢者
- 安定期の病期がⅢ期(高度の気流閉塞)

外来管理の際には以下の点に留意しながらフォローを行う

### 外来管理時のポイント

- 呼吸器症状が増悪する際には、再受診することを患者・家族に指導する
- 3日～7日後に再診を行い、増悪からの回復状況を確認する
- 増悪からの回復が乏しい場合には他疾患の鑑別や入院適応に関して再評価する
- 増悪から回復した際には、増悪要因を検討した上で治療の見直し(禁煙指導・ワクチン接種・吸入薬の治療強化など)を図る。必要に応じてたばこ肺フォローチームAへ紹介する